

令和3年度札幌市国民健康保険会計決算

【歳入】

(単位：億円)

	令和3年度				令和2年度 決算(C)	前年比(B-C)
	当初予算	予算現額(A)	決算(B)	予決差(B-A)		
保険料						
現年度分	283.0	283.0	286.3	3.3	292.7	△ 6.4
滞納繰越分	9.8	9.8	8.3	△ 1.6	10.1	△ 1.8
道支出金	1,316.3	1,333.6	1,328.1	△ 5.4	1,288.8	39.3
繰入金	214.4	215.5	207.1	△ 8.5	201.4	5.7
その他	2.8	2.8	10.9	8.1	21.4	△ 10.5
歳入合計	1,826.4	1,844.8	1,840.6	△ 4.1	1,814.4	26.2

※その他は、延滞金、保険給付費返還金等

【歳出】

	令和3年度				令和2年度 決算(C)	前年比(B-C)
	当初予算	予算現額(A)	決算(B)	不用額(A-B)		
総務管理費	41.5	41.9	37.5	4.5	39.2	△ 1.7
療養給付費・療養費・高額療養費等	1,296.8	1,314.9	1,301.0	13.9	1,247.3	53.7
保健事業費	11.6	10.5	9.4	1.1	9.6	△ 0.2
事業費納付金	471.9	471.9	471.9	0.0	478.2	△ 6.3
その他	4.5	5.5	2.3	3.2	11.2	△ 8.9
歳出合計	1,826.4	1,844.8	1,822.1	22.7	1,785.5	36.6

※その他は、保険料還付金、国庫支出金等返還金等

※表中の数字は項目ごとに四捨五入しているため、総額が一致しない場合がある。

予算と決算のかい離理由（主なもの）（単位：億円）

【歳入(予決差)】

- 繰入金 △ 8.5
- ・ 予算計上していた予備費の不使用、事務費の節減等に伴う一般会計繰入金の減
- その他 + 8.1
- ・ 新型コロナウイルス感染症による保険料減免の財源として国から災害臨時補助金が交付されたため

【歳出(不用額)】

- 療養給付費等 + 13.9
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響等により受診回数等が減少した昨年度と比較すると増だが、見込みよりは減となった（主に北海道の見込みに基づいて積算）
- 総務管理費 + 4.5
- ・ 仕様精査によるシステム改修費の減、職員給与の減や時間外手当の節減等

国民健康保険支払準備基金額の推移

R3年度	期首残額	67.9
	期中取崩額	17.0
	期末積立額	18.5
	期末残額	69.4
R4年度	取り崩し額(予定)	5.8
	期末残額(予定)	63.6

基金の令和4年度期末残額見込みについて

- 令和3年度の期末残額は69.4億円。
- 令和4年度において、平成30年度及び令和元年度に発生した北海道全体の赤字により取り崩した北海道の基金への拠出等のため、総額5.8億円を取り崩す予定。
- 結果として、取崩し後の期末残額(貯金)は63.6億円となる見込み。

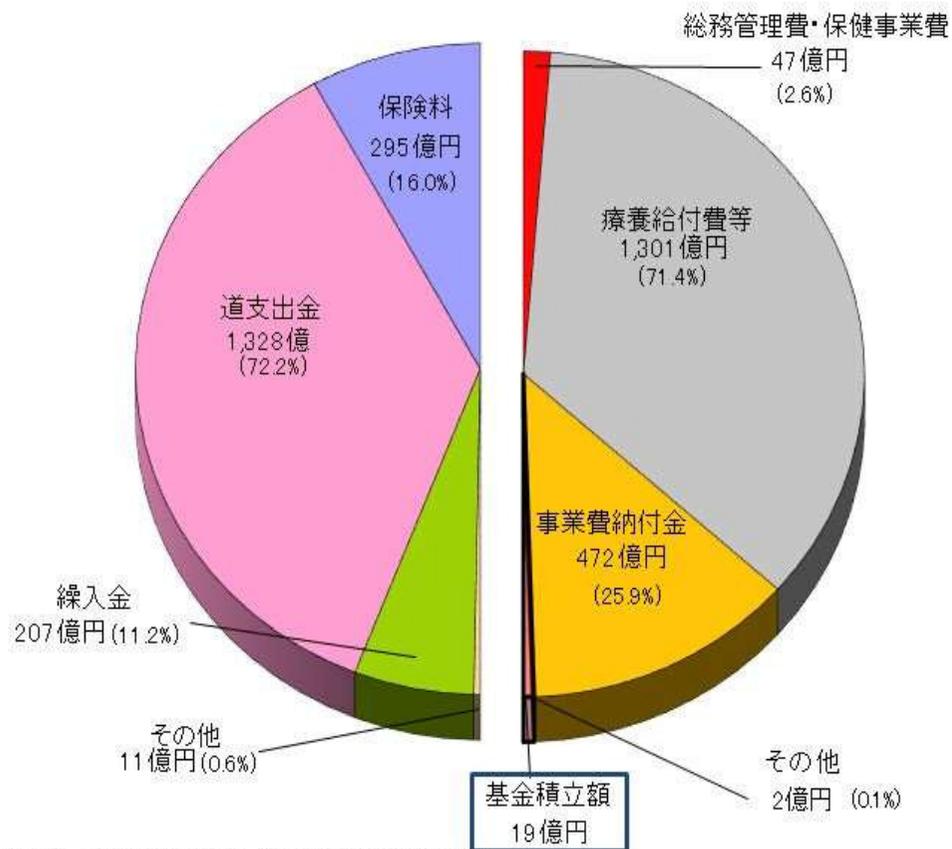
▶決算状況

○令和3年度国民健康保険会計決算の概要

歳入 1,841億円

歳出 1,822億円

基金積立額 19億円



※円グラフの()内は歳入・歳出別の構成割合である。

※各項目を四捨五入しているため、合計が総額と一致しない場合がある。

○被保険者数の推移

	R元年度	R2年度	R3年度
被保険者数	371,797人	364,848人	360,893人
前期高齢者 (全体に占める割合)	169,404人 (45.56%)	169,475人 (46.45%)	168,903人 (46.80%)
世帯数	260,703世帯	258,465世帯	258,092世帯

(被保険者数・世帯数は3月～2月平均)

○札幌市の人口である約197万人のうち、約18%が国保に加入している。

○被保険者数は、後期高齢者医療制度への異動等により減少。

うち前期高齢者(65歳～74歳)の割合は、少子高齢化が進んでいるため増加。

○総医療費及び一人当たり医療費の推移

